

生産出荷近代化計画の概要

[野菜指定産地名] 登米

[指定野菜の種別] 春キャベツ

[指定区域] 登米市

[指定年月日] 平成17年2月18日

[計画樹立年月日] 平成18年2月13日

[計画変更年月日] 令和3年3月31日

[変更後の計画概要]

○生産及び出荷の近代化に関する基本構想

当地域では、キャベツを露地野菜の重点振興品目に定め各関係機関連携のもと、集落農業ビジョン等で生産基盤の整備を進めていく。

産地拡大に向けては、当地域で平成11年度にキャベツ部会が設立されおり、栽培技術の向上や種苗の紹介等を実施し生産者の意識を高めながら地域を上げキャベツ栽培を強力的に進めていく。また、生食・加工・業務用需要に対応した生産に取り組み、産地発展に向けて出荷体制の見直し、連作障害対策等キャベツ産地としての安定供給と農業経営の安定に努める。

○生産出荷近代化の現状と目標

項目	現状 (H29)	目標 (R4)
作付面積 (ha)	46	50
生産量 (t)	570	500
出荷量 (t)	483	500
共販等量 (t)	449	400
共販等率 (%)	93	80
収量 (kg/10a)	1,240	1,000